

歴史的な生活・町家から学ぶ ーならまちー

奈良町セミナーハウスを開設

奈良町の一画にある正木康雄さん所有の町家（旧正木家と通称）を奈良女子大学「奈良町セミナーハウス」として利用できることが確定しました。現代GPでは、このセミナーハウスをアネックスと位置付け、授業等に利用します。以下、旧正木家を中心に説明します。

6月27日	覚書調印
7月～9月	トイレ・浴室改装、ユカ下補強・畳入れ替え
10月31日	開所式 パンフレット作成
11月	ゼミなどに利用
29日	見学会開催
12月	ゼミなどに利用
20日	大掃除
22日	SSH講義

まず、17年度に入ってから覚書調印の準備をすすめ、双方の条件や利用状況について意見交換しました。合意を得て6月27日に旧正木家で本学学長と正木康雄さんとの間で覚書を交わしました。当面10年間、奈良女子大学「奈良町セミナーハウス」として利用することが決まりました。

学生参加でセミナーハウスを改装

その後、利用者の便をを考えてトイレ・浴室を改装しました。この改装作業には、住環境学専攻の学生が参加しました。改装も出来るだけ学生の手で進めよう、教育の場にしようという意図からです。トイレ・浴室の改装作業に平行してユカ下補強・畳入れ替えを行いました。これらの作業の結果、ゼミ・30名ほどの講義が可能になりました。

セミナーハウスでゼミを実施

最小限の改装が終わったので、10月31日に奈良女子大学「奈良町セミナーハウス」をオープンしました。オープン後、一週間あたり一度か二度のゼミなどに利用しています。また、11月29日に見学会を開催したところ多数の、学生・職員が訪れました。

12月20日には、学生と附属学校の生徒、総勢30名ほどで年末大掃除を行い、たまった埃を掃除し、庭の雑草などをのぞきました。また、22日にはSSHの講義をコタツを囲んで行いました。



トイレ・浴室の改装



オープンのテープカット



附属学校生徒へのコタツ講義



産経新聞 2005. 11. 11